

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成30年12月6日(2018.12.6)

【公開番号】特開2018-152301(P2018-152301A)

【公開日】平成30年9月27日(2018.9.27)

【年通号数】公開・登録公報2018-037

【出願番号】特願2017-49219(P2017-49219)

【国際特許分類】

F 2 1 S 2/00 (2016.01)

F 2 1 V 8/00 (2006.01)

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

G 0 2 B 6/00 (2006.01)

F 2 1 Y 115/10 (2016.01)

【F I】

F 2 1 S 2/00 4 3 5

F 2 1 V 8/00 3 3 0

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

G 0 2 B 6/00 3 3 1

F 2 1 Y 115:10

【手続補正書】

【提出日】平成30年10月23日(2018.10.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

光源と、

前記光源から入射した光を導光し、その一部を光出射面から出射させる導光板とを備え

、

前記導光板に、入射した光の方向を変えて前記光出射面から出射させる光出射構造部を 1 以上含む画素領域が設けられており、前記画素領域のそれぞれからの出射光量を変化させることによって階調を有する所定の画像を表示するとともに、

所定の範囲の階調を表示する前記画素領域の出射光量が、第 1 光量値、または、前記第 1 光量値よりも大きい第 2 光量値となるようにランダムに設定されており、

前記所定の画像における全ての階調の範囲を複数の部分階調範囲に分割するとともに、前記部分階調範囲毎に、前記第 1 光量値および前記第 2 光量値が設定されていることを特徴とする表示装置。

【請求項 2】

前記部分階調範囲の数が 10 以下であることを特徴とする請求項 1 に記載の表示装置。

【請求項 3】

前記部分階調範囲の数が 5 以下であることを特徴とする請求項 1 に記載の表示装置。

【請求項 4】

最も高い前記部分階調範囲の前記第 2 光量値が、最も低い前記部分階調範囲の前記第 2 光量値の 3 倍以上であることを特徴とする請求項 1 に記載の表示装置。

【請求項 5】

ある部分階調範囲の前記第 2 光量値と、該部分階調範囲よりも一段階低い部分階調反値

の前記第 2 光量値との差を光量値差とすると、全ての階調の範囲における前記光量値差が一定ではないことを特徴とする請求項 1 に記載の表示装置。

【請求項 6】

前記画素領域のそれぞれに含まれる前記光出射構造部の数が同じであるとともに、前記光出射構造部の形状を異ならせることによって前記画素領域の出射光量を変化させることを特徴とする請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載の表示装置。

【請求項 7】

前記光出射構造部が、入射した光の方向を変える光学面を備えるとともに、前記光出射面側から見て、前記光源から入射する光の方向に垂直な第 1 方向における前記光学面の長さを異ならせることによって前記画素領域の出射光量を変化させることを特徴とする請求項 6 に記載の表示装置。

【請求項 8】

前記光出射構造部が、入射した光の方向を変える光学面を備えるとともに、前記光出射面側から見て、前記光源から入射する光の方向に平行な第 2 方向における前記光学面の長さを異ならせることによって前記画素領域の出射光量を変化させることを特徴とする請求項 6 に記載の表示装置。

【請求項 9】

前記画素領域に含まれる前記光出射構造部の数を異ならせることによって前記画素領域の出射光量を変化させることを特徴とする請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載の表示装置。

【請求項 10】

前記光源から入射する光の方向に垂直な第 1 方向に並ぶ複数の前記画素領域をまたがるように、前記第 1 方向に延伸する光出射構造領域が複数平行に設けられているとともに、前記光出射構造領域に光出射構造部を設けるか否かによって、前記画素領域に含まれる前記光出射構造部の数を異ならせることを特徴とする請求項 9 に記載の表示装置。

【請求項 11】

請求項 1 ~ 10 のいずれか 1 項に記載の表示装置を備えており、  
遊技の進行に応じて前記表示装置での表示が行われることを特徴とする遊技機。